

**町紹介をしよう ～ Presentation2 ～**

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力, 主体的に学ぶ力,  
他者とのかかわる力**単元について**

## ○単元観

本単元は、自分の町を紹介するという内容である。町を紹介するなかで、Unit 6 までに学んだ **There is～, There are ～** や接続詞 **if, that, when, because** を自然と活用しながら、中学校学習指導要領の「イ 話すこと（イ）自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」「エ 書くこと（オ）自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。」ができる力を育成できる設定となっている。

したがって、聞いたり読んだりしたことから書くこと、そして話すことにつなげるといった、4技能を総合的に取り入れた表現活動をとおして、生徒が自分の考えや気持ちを表現できる力を養う。

## ○生徒観

本学級の生徒は、発言や活動に意欲的である。発音練習などの繰り返し学習も、ペア活動やグループ活動にも意欲的に取り組む生徒が多い。2学期に行った生徒アンケートで、「英語の授業で学習したことは、将来役に立つと思う」という項目の肯定的な回答をした生徒は93%であった。平成28年度広島県「基礎・基本」定着状況調査では、適切な質問を考え英文を書く問いにおいて通過率が41.7%であり、自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す問いにおいては、通過率は37.2%と、文と文のつながりを理解して正しい英文を書いたり話したりすることに課題があり、つながりのある英文を正しく書くことから、相手に伝わるように話すことにつなげていくための手だてが必要であると考え。この力を付けるためには授業だけではなく、家庭学習の定着が必要だが、同アンケートの「英語の授業の予習をしている」という項目では肯定回答が59%、「英語の授業の復習をしている」という項目では肯定回答が73%であり、生徒がつまずきを克服するための具体的な課題の提示や、効果的な学習方法の指導が必要であると考え。

## ○指導観

生徒の課題である「つながりのある英文を書く」指導にあたっては、まず単語の定着を図るために **Bingo** や単語テストに取り組ませる。また、弾丸インプットに紹介文のモデル文を取り入れることで読むことから書くことにつなげていく。こうした活動を帯学習で繰り返し取り組むことで基本的な単語や文の構造を理解させ、生徒が自信を持って表現活動に取り組めるようにしたい。また授業で習った文法を使った英文を書かせたり、ドリルプリントを家庭学習に取り入れたり授業以外での英語の学習にも取り入れて書いたりすることにおいて定着を図りたい。「話す」指導にあたっては、1分チャットや **Q&A** を通して、相手に質問したり、つなぎ言葉を用いて話を続けたりする活動を仕組む。また、相手の質問に対して2文以上で答えることなど条件を付け加えることで自分の意見を話す工夫をさせたい。単元を通して、ペアやグループの活動を取り入れ、一人一人に役割を与え、積極的に他者と協力し、主体的に課題を解決しようとする力の育成にもつなげていきたい。

## 単元 の 目 標

- (1) 福山の良い所について適切な英語で正しく英文を書く。 (外国語表現の能力)
- (2) 福山の良い所を ALT に伝える。 (外国語表現の能力)
- (3) 聞き手に分かりやすいように発表したり,発表を聞いて積極的に質問したり意見を述べたりする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (4) There is / There are～構文,接続詞 if, that, when, because 節を用いた文の形・意味・用法を理解する。  
(言語や文化についての知識・理解)

## 単元 の 評 価 規 準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①福山の良い所を ALT に伝えようとしている。 ②質問に対して積極的に自分の意見を述べている。	①スピーチ原稿を正しく書くことができる。 ②福山について自分の意見を加えてスピーチすることができる。	/	①There is / There are～構文,接続詞 if, that, when, because 節の文の形・意味・用法を理解している。

## 資 質 ・ 能 力 と 評 価 の 観 点 と の か か わ り

本校の育てようとする資質・能力			評価の観点			
			関	表	理	知
知識						○
スキル	思考力・ 判断力・ 表現力	思	①学習したことを使って,自分の考えをまとめる力 ②根拠をもとに,正しい判断をする力 ③よりよい解決のため,いろいろな見方・考え方を持つ力 ④自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力		○	
意欲 態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら考え,判断し,行動する力	○		
価値観 倫理観	他者とかかわる力	他	①他者と協力(協働)して,課題を解決しようとする力 ②他者との関わりを通して自分の考えを深めたり広げたりする力	○		
	社会貢献力	社	①地域のよりよい社会のために,何をすべきかを考え実行しようとする力			
	自己形成力	自	①前向きにチャレンジし,より自律・自立した人間になろうとする力 ②自信を持つ力			

## Ⅰ 学習内容とⅡ学習活動,Ⅲ単元として育てたい資質・能力のつながり

Ⅰ 自分たちの住んでいる福山について初めて福山に来た ALT に紹介するために, Ⅱ 他地域のマップを見たり自分達でアンケートを実施したりして,紹介文を作成しスピーチすることを通して, Ⅲ 自分の意見を相手にわかりやすく表現する力を養う。

## 単元の終末におけるパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準	
<p>ALT のカイ先生に福山を知ってもらうためにグループで2分間のスピーチをして、カイ先生の質問に対して適切な表現を使って答えることができる。</p> <p>スピーチ例</p> <p>Hello. We're going to introduce festivals in Fukuyama. My city has a lot of festivals. For example, "Rose festival" is very popular because Fukuyama is famous for roses. We call our city Barano-machi. The festival is in May every year. A lot of people visit our city to see beautiful roses. There are many kinds of roses. You can enjoy parades, shopping and nice foods. You can eat "Uzumi" there. It's a traditional food in Fukuyama. It's delicious. If you want to go there, you can take a bus. It takes about fifteen minutes from Fukuyama station. That's all.</p> <p>質問(例)</p> <p>1)Where should I get off when I go there by bus?</p> <p>2)Are there any other festivals in Fukuyama?</p> <p>模範解答</p> <p>1) I think (that) you should get off at Midorimachi-koenmae.</p> <p>2) Yes, there are. If you come in summer, you can enjoy "Fukuyama fireworks festival."</p>	A	<p>自分の意見を分かりやすく正しい英語で相手に伝えている。</p> <p>相手の質問に対して適切な表現を使って答えることができ、さらに接続詞などを用いて自分の考えや意見を正しい英語で答えることができる。</p>
	B	<p>自分の意見を分かりやすく正しい英語で相手に伝えている。</p> <p>相手の質問に対して正しく答えることができる。</p>
	C	<p>自分の意見を分かりやすく正しい英語で相手に伝えられていない。</p> <p>相手の質問に対して正しく答えることができていない。</p>

## 指導と評価の計画

時	学習過程	学習内容	評 価					
			関	表	理	知	評価規準 (評価方法)	◇資質・能力育成場面 【資質・能力】 ◆資質・能力評価場面 【資質・能力】 (評価方法)
1	課題の設定	・ALTのカイ先生が友達を連れて福山を案内したいが、どこに行けばいいか困っていることを理解する。 ・マッピングで福山について意見を出させる。	○				ア－① (活動の観察)	◇自分なりに課題に対して見通しを持ち、意見をまとめる。 【主－①】
2	情報の収集	・There is / There are～構文、接続詞 if, that, when, because 節の文の形・意味・用法を復習する。				○	エ－① (ワークシート)	
3		・紹介文を書くために必要な情報を集める。 ・アンケート結果から紹介する内容を考え、グループで日本語にして、英文にする分担を決める。	○				ア－① (活動の観察)	◇他者と意見交流する中で、自分自身の意見を客観的にとらえたり、他者の意見を取り入れたりする。 【他－①, ②】
4 5	整理・分析	・個人で英文を書く。 ・グループで修正をする。 ・グループで1つのスピーチ原稿にまとめる。 【本時】		○			イ－① (ワークシート)	◇集めた情報をもとにグループでスピーチ原稿を書く。 【思－①】
6		・カイ先生からのアドバイスを基に紹介文を完成させる				○	エ－① (ワークシート)	◇他者と意見交流する中で、自分自身の意見を客観的にとらえたり、他者の意見を取り入れたりする。 【思－③, ④】
7		・全体で紹介文を発表し、お互いの発表を聞いて、意見や質問をしたり、修正したりする。	○				ア－② (活動の観察)	
8	まとめ・表現・創造	・グループでパフォーマンステストに向けて練習をする。	○	○			ア－① イ－② (活動の観察)	◇他者と意見交流する中で、自分自身の意見を客観的にとらえたり、他者の意見を取り入れたりする。【他－①】 【思－③, ④】
9	実行	・パフォーマンス課題(グループでALTに2分間のスピーチをし、ALTの質問に対して適切な表現を使って答える。)		○			イ－② (パフォーマンステスト)	◆相手が納得するように、伝わりやすくまとめている。【思－②】 ◆相手の質問に対して適切な英語で答える。 【思－④】 (インタビューテスト)
10	振り返り	・単元テスト				○	エ－① (ペーパーテスト)	

## 本時の学習

(1) 本時の目標

アンケートや調べた情報をもとにスピーチ原稿の内容を考え、原稿を書くために適切な単語や文法を選び使うことができる。

(2) 準備物

ワークシート

(3) 学習過程 (4 時限目 / 10)

整理・分析

	学 習 活 動	指導上の留意点 ○指導上の配慮事項 ◆支援を必要とする生徒への手立て	評価規準 (評価方法) 【資質・能力の評価】
導 入 (10分)	1 英語係による号令 あいさつ 2 Warming up ビンゴ・小テスト (K)・・・繰り返し挑戦する)  3 本時のめあてを確認する。		
【本時のめあて】 スピーチ原稿を書こう			
展 開 (35分)	4 アンケートのまとめをグループごとに発表する。 (H)・・・はっきり表現する)	○グループごとアンケート結果からどんなスピーチをするか発表させる。 ○あらかじめポスターにまとめさせておく。 (例) We' re going to introduce food. I want to tell her about a (good) sushi restaurant. If she wants to eat Sushi, She should go to Sushiro. It is the best sushi restaurant. ( the best of all sushi reataurants.)	
	5 個人で自分の担当の文を英文にする。 (J)・・・じっくり考える)	○グループで考えた日本文をもとに個人で英文を考えさせる。  ◆お助け表現をワークシートに載せておく。	イー① 他者と意見交流する中で、自分自身の意見を客観的にとらえたり、他者の意見を取り入れたりする。 (ワークシート) <b>【思-①】</b>
	6 グループで発表し、修正をする (H)・・・はっきり表現する)	○個人が書いた英文を発表させて、文法の間違えなど交流させる。	
	7 自分達が紹介する内容を発表する。		
(ま と め 5分)	8 本時のまとめをする。  9 振り返りを書く  10 英語係によるあいさつ	○今後の予定を伝える。	